

15年の前年比9.3%減の2205万本

東京ネクタイ協同組合(和田匡生理理事長)が2年に1回作成している「日本のネクタイ生産実態調査」によると15年(1~12月)

の国産・輸入を含めた日本市場でのネクタイ流通量は2205万1047本(前年比9.3%減)と2年連続で減少した。金額は139億8514万円(1.9%減)。

クールビズ開始以降8年連続で減少した後、13年は数量で0.3%増といった下げ止まったが、14年から再び減少に転じた。クールビズが始まった2005年の流通量4160万3686本に比べ約47%の減少となった。

15年の内訳は国産が47

東京ネクタイ協同組合が調査

日本のネクタイの生産実態

0万4445本(前年比1.1%減)で、2005年の1298万2138本の比約64%の減少。輸入は15年が1734万6602本で、05年の2862万1551本に比べ約40%の減少。

国産の内訳は15年が山梨215万2000本(前年並み)、西陣48万9288本(49.3%増)、八王子74万8000本(8.0%減)、桐生56万8200本(6.5%減)、十日町22万本(8.3%減)、米沢2万2000本(6.4%減)、博多4000本(前年並み)。

15年の輸入品の内訳は中国1580万9873本(11.6%減)、イタリア115万4006本(7.

8%減)、フランス12万4174本(13.4%増)、米国10万937本(25.2%減)、ベトナム7万1396本(12.8%減)、英国3万3627本(34.1%減)、韓国1万2127本(70.1%減)。15年は05年に比べ、中国は約37%減、イタリアは約58%減となった。

和田理事長は「日本の国内市場は流通量が減少しているが、商品では中国からの輸入ネクタイの減少が主な要因。国産品は(前年比)ほぼトントンで、西陣のように伸びている産地もある。市場全体の中で国産品の比重が相対的に高まっている」とコメントしている。

アパレルグッズ小売り